



出張報告書

令和5年 5月29日

尼崎市議会議長 様

会派名 公明党
代表者氏名 土岐良二
出張者氏名 福島さとり、開康生
蛭子秀一、中尾健一
中村敦子、東浦小夜子

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

- 1 出張期間 令和5年5月17日から令和5年5月19日まで
2 結果の概要

Table with 2 columns: 用務先 (志布志市, 八代市, 佐賀市) and 報告事項 (使用済み紙おむつリサイクル事業, 八代市立博物館の施設の概要, 戦力的シティプロモーションの推進). Includes a section for 添付書類 and 備考.

- 3 届出事項の変更等 [checked] なし [ ] あり (内容は裏面に記載)

旅費の精算

精算額は、令和5年 5月 9日届け出た額 ( 483, 540 円) と同一額である。
届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

支 出 額	
精 算 額	
支出 差引 額 戻入	

変更前と後の日程

	月	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

2023年5月20日

## 《視察報告書》

日時 2023年5月17日 午後2時～3時半  
視察先 志布志市  
説明者 文教厚生常任委員長 丸山 一 議員  
市民環境課 [REDACTED] 課長、同課 環境政策係長 [REDACTED] 氏  
出張者 開 康生、福島 覚、蛭子 秀一、東浦 小夜子  
中村 敦子、中尾 健一  
報告者 中尾健一  
視察内容 『使用済み紙おむつ再資源化（リサイクル）事業』について  
視察目的 事業の概要、回収実績、市民の評価、今後の展望等について学ぶ

### ■概要と目的

志布志市は、2016年、埋め立てごみの約2割を占める「紙おむつ」について、ユニ・チャーム株式会社と共同し、焼却を行わない完全な「再資源化システム」の構築、本格稼働に向けた「処理技術の開発」を開始した。

環境に配慮した施策の実行により「最終処分場の延命化」と「国内外で普及可能な再資源化システムの確立」を目指している。

### ■実績（2022年）

紙おむつ回収量 約1.8t/月

- ・大人用紙おむつ回収率 45%
- ・子ども用紙おむつ回収率 79%

### ■効果

#### ①経済効果など

「最終処分場の延命効果」、「一般ごみの再分別が可能になる」、「本地域のイメージアップ・認知度向上」、「視察の増加（水平リサイクルは世界発、地球温暖化対策として効果大。同市から国内外へ普及）」など

#### ②住民サービスの向上など

「収集回数の増加」

「紙おむつ専用袋の低価格化（子育て支援、介護世帯の負担軽減）」など

#### ■今後の展開

現在、一部の地域において、家庭系の紙おむつを実証実験的に回収している。令和6年1月には市内全域で回収し、同年4月から本格稼働する予定。その後、事業系の紙おむつも回収し、最終的に大崎町と合わせて年500tの紙おむつを回収する予定。

#### ■課題

①リサイクルに要する費用の確定が、現時点では困難である

《理由》

- ・2022年に予定されていた「再生パルプを使用したおむつの実用化」が実現できていない＝販売価格が分からない為
- ・紙おむつの回収を市内全域で展開した際の「コスト」の予測が困難

②鹿児島県大崎町にある「有限会社そおりサイクルセンター」への配送負担

③「リサイクルセンター」を本市へ誘致できるかが不明（現在、未交渉）

#### ■所感

紙おむつは、水分量が多く燃えにくい為「焼却炉に大きな負荷」が掛かるだけでなく「焼却費用」や「二酸化炭素排出」など、様々な課題が指摘されている。

政府は、現行の焼却による処分方法は、いずれ限界が来ると予測している。

本事業は、焼却炉の延命化、焼却費用と二酸化炭素排出量の削減に寄与する事に加え、市内の焼却対象ゴミ量の「削減計画」にも寄与する事は明らかである。

本市の課題解決に寄与する本事業について、導入メリット等を分かり易く、且つ粘り強く提案していく所存である。

以上



尼崎市議会 公明党 様

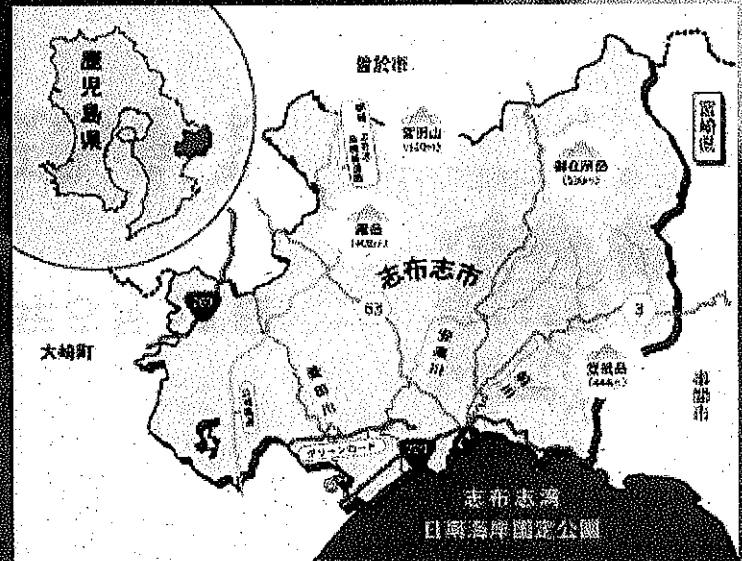
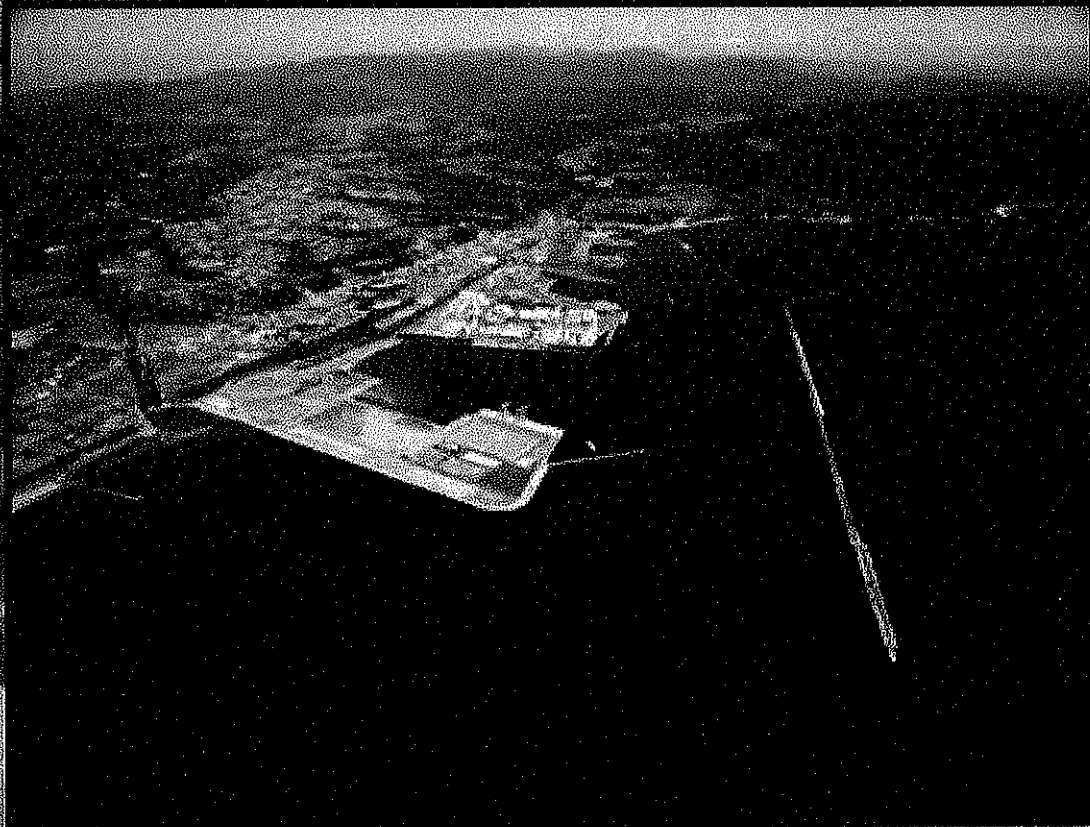
# 使用済紙おむつ 再資源化事業について

令和5年5月17日

志布志市 市民環境課



志武士ししまる



令和5年4月30日現在  
人口:29,466人  
世帯数:15,246世帯  
面積:290.28km<sup>2</sup>



# ごみ焼却施設がない！



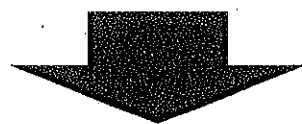
平成2年 曾於南部厚生事務組合設立

(志布志町・有明町・大崎町)

一般廃棄物最終処分場

(通称:清掃センター)を建設

(管理型:埋立容量72万立方メートル)

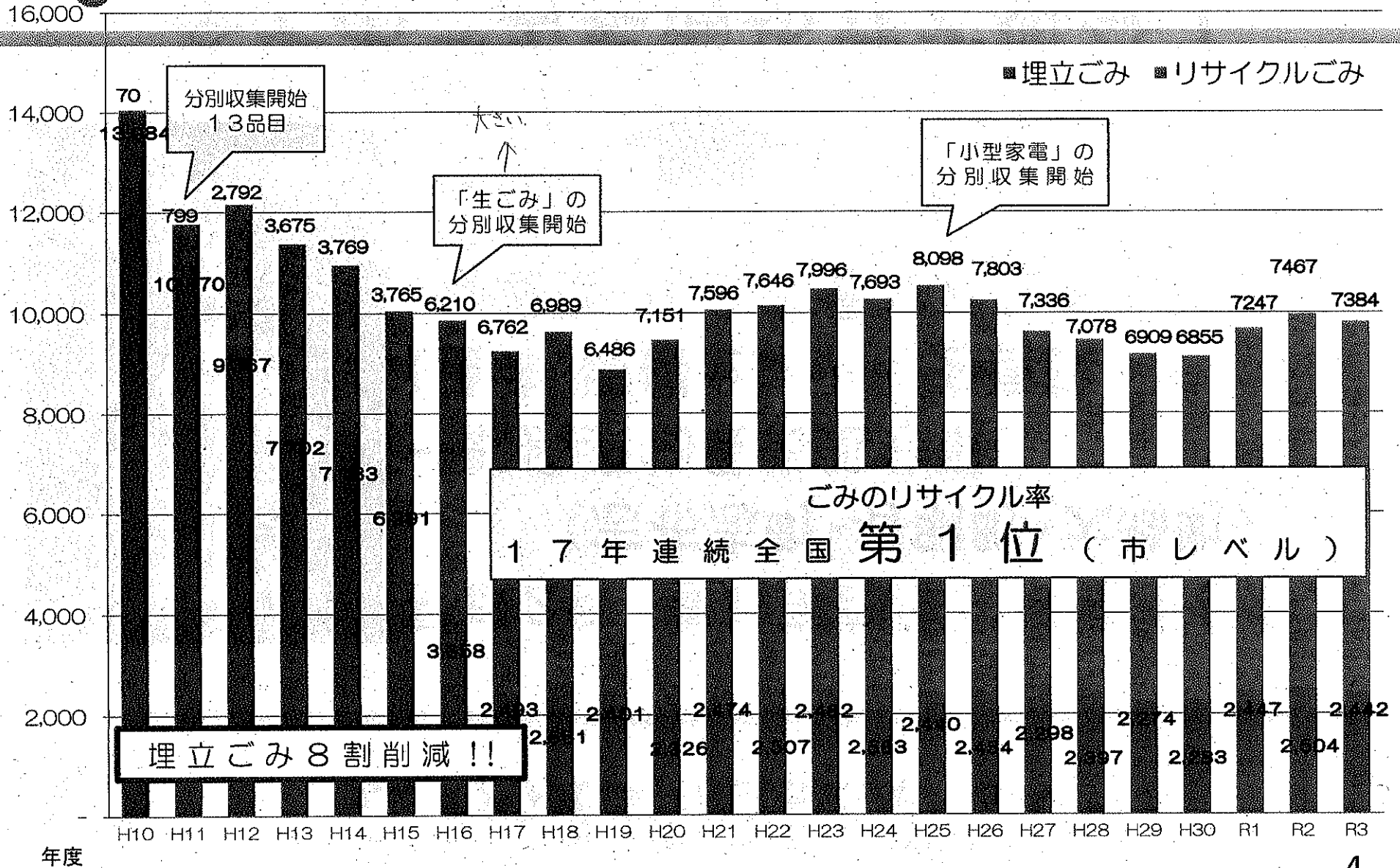


## 全てのごみを埋め立て処分！

(平成16年度でいっぱいになる設計)



# 志布志市のごみの推移

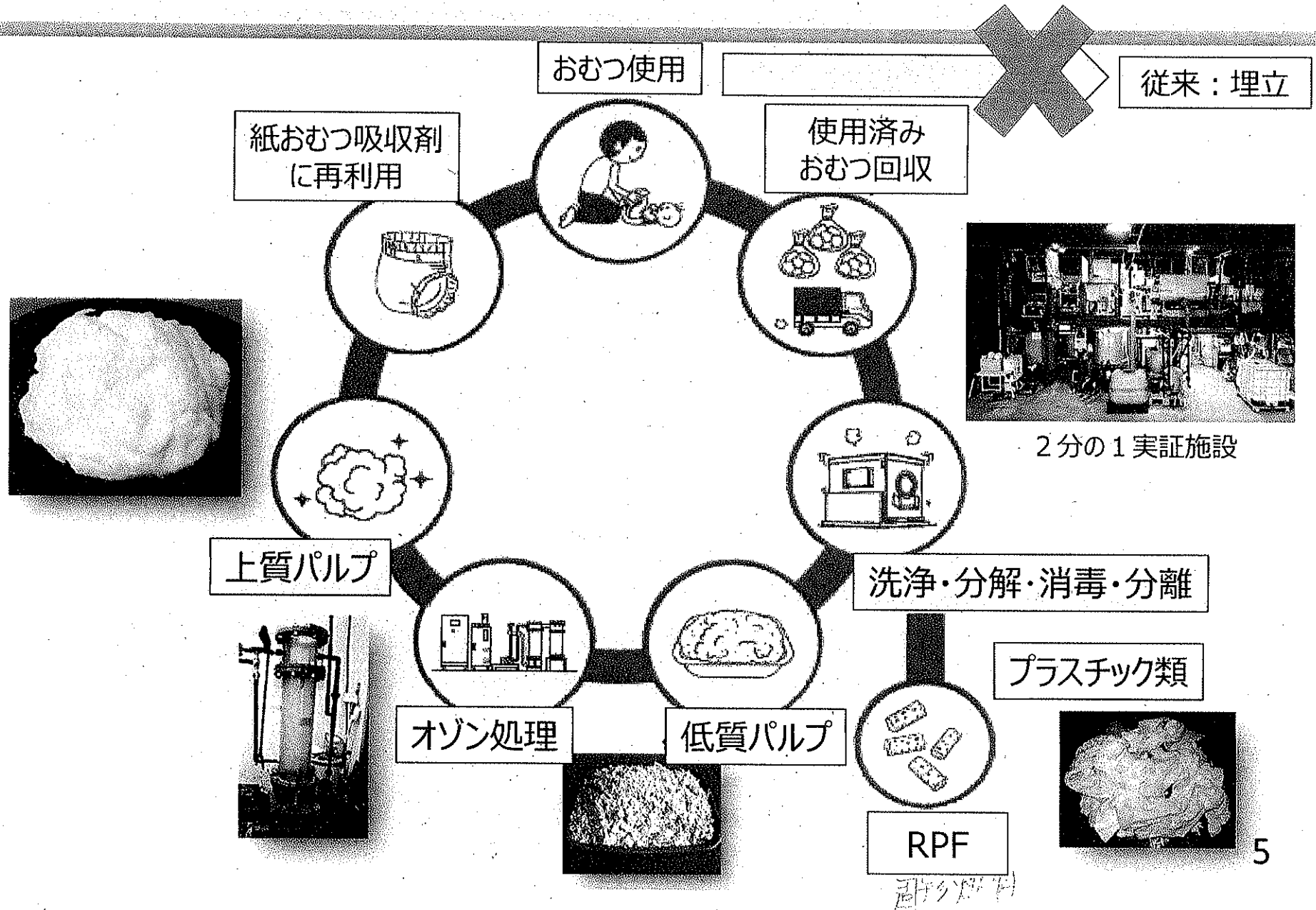






# 紙おむつリサイクルの流れ

1922レ:





# 紙おむつ再資源化 これまでの取り組み

年月	取組内容
H19~22	バイオマスタウン構想の補助事業で処理施設建設を目指すも、採算合わず断念
H22	使用済み紙おむつのRPF化及びメタン発酵並びに高速堆肥化施設について検討
H24~25	H25.10竣工を目指し、検討再開するもポリマーの処理方法が確立されていないことなどから検討を停止
H28.5	志布志市使用済み紙おむつ再資源化推進協議会発足
H28.11	志布志市、そおりサイクルセンター、ユニ・チャーム（株）の3者で協定締結
	再資源化技術の実証実験開始
	モデル地区において分別収集開始 (志布志市3自治会、大崎町1自治会、2施設)
H29.11.18	志布志市広域紙おむつ再資源化研究会発足 (大隅地域4市5町)
H30.4	大崎町を加えた4者で協定締結
R1.8	モデル地区回収の拡大 (有明地域川西地区 71自治会)
	4者で使用済み紙おむつ再資源化の実証実験に関する覚書締結

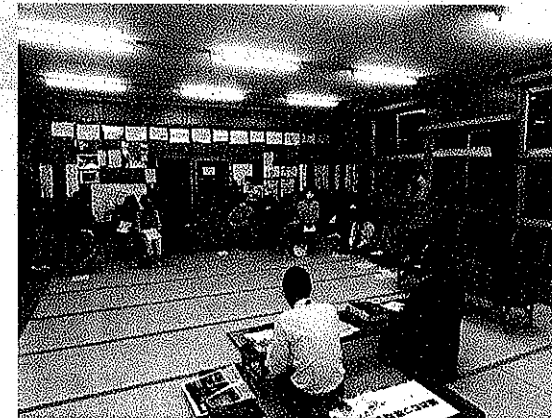


# モデル回収の実施

項目	内容
1) 実施期間	平成28年11月1日から
2) 実施箇所	○家庭系 ・志布志町、有明町、松山町、大崎町の4自治会 ・ごみステーション 7箇所 ○事業系 (平成30年3月で終了) 特別養護老人ホーム 1施設、養護老人ホーム 1施設
3) 回収方法	モデル地区専用のパッカー車で回収 H30.4から生ごみ回収車が積合せて回収
4) 回収曜日	月・金の週2回 回収
5) 回収袋	おむつ専用袋を無償配布

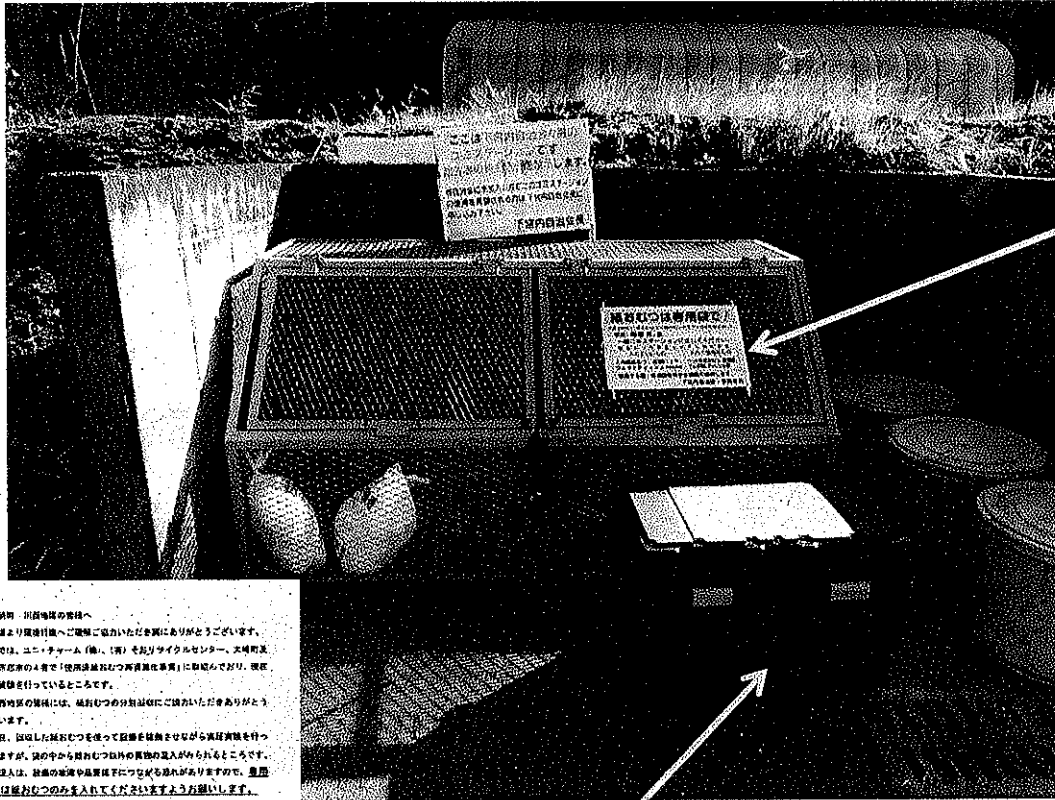
令和元年8月からモデル回収地区拡大  
有明地域川西地区 71自治会 4,826人  
この自治会を対象に説明会を開催しました

1/6





# 排出方法



## 紙おむつは専用袋で!

平成28年11月4日(金)から紙おむつのモデル回収を始めました。

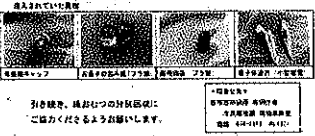
◇回収: 毎週月、金  
一般ごみステーションに出してください。

紙おむつ再資源化モデル回収事業	入れていいもの	入れて駄目なもの
	人の紙おむつ、尿取パッド、ウェットティッシュ(お肌用)	ペット用紙おむつ、新聞紙、ゴム手袋、ティッシュ等

◇使用する袋: 専用袋を市から無償で提供します。  
下宮内自治会・志布志市

有明町・川原地域の皆様へ  
皆様より環境対策にご関心いただきありがとうございます。  
ここでは、ユニ・チャーム(株)、「(株)そらりサイクルセンター」次期町民  
びるおの家の4号で「使用済紙おむつ再資源化事業」に取組んでおり、現在  
委託業者を行っているところです。  
川原地域の皆様には、紙おむつの分別回収にご協力いただきありがとうございます。  
紙おむつ、回収した紙おむつを燃焼して資源を確保させながら再資源化を行っ  
ていますが、袋の中から紙おむつ以外の異物の混入がみられるところで、  
異物混入は、資源の品質や品質低下につながりかねませんので、異物  
混入には紙おむつのみを入れてくださいますようお願いいたします。

- 入れてダメなもの(紙おむつで処理できないもの)
- 新聞紙やチラシなど(印刷された紙)
  - ペット用の紙おむつやシート
  - 生用片紙、ゴム手袋、布カイロ
  - 合羽袋、菓子袋など



新品のおむつ専用袋が入  
っており、必要な方はここ  
から取っていただきます。

異物混入啓発ちらし



袋は小袋



入れてはだめ  
なものを表示 8



# モデル回収実績

- ◆紙おむつ回収量 約1.8 t /月
- ◆大人用紙おむつ回収率 45%
- ◆子ども用紙おむつ回収率 79%

〈令和4年度実績〉

※環境省「紙おむつの再生利用に関するガイドライン」に基づき試算

- ◆紙おむつを使用していることを知られたくないと答えた人 9.6%

〈令和元年度アンケートより〉

※現在一部の拠点に設置している回収ボックスを、希望する自治会に設置。



モデル地区に紙おむつ専用回収ボックスを設置

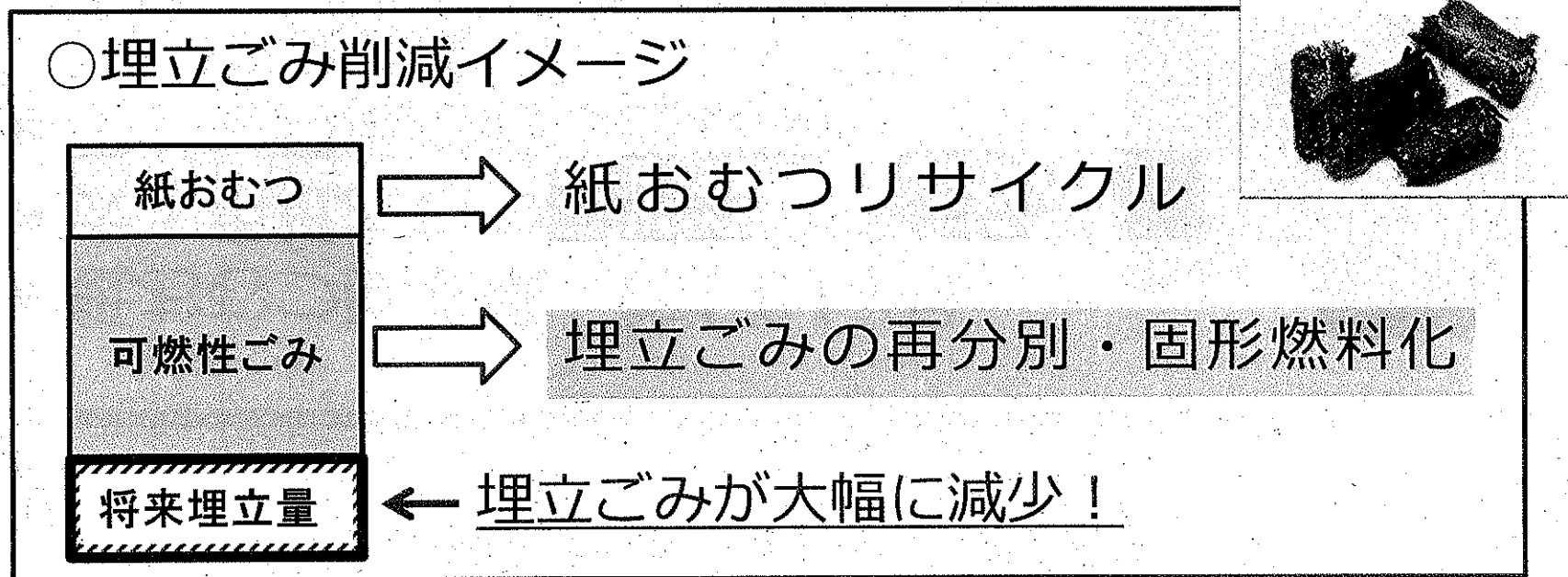


# 志布志市の目指すもの

★ 紙おむつがリサイクルでき埋立ごみから除かれれば、埋立ごみを再分別し固形燃料（RPF）にできます。

固形燃料化施設も一体的整備することで、最終処分場の負のイメージを、最終分別ステーションという正のイメージに転換したい。

（※ H30～R元で環境省の補助金を活用し、固形燃料化の実現可能性調査を実施）





# 効果① 経済効果等

(1) 最終処分場の延命化効果

埋立ごみの中で紙おむつの占める割合は1~2割。

①新規処分場建設コスト減

②土堰堤建設コスト減



★(2) 一般ごみの再分別が可能に

一般ごみからRPF（固形燃料）を製造し、埋立ごみの大幅削減へ

(3) 視察の増加

- ・紙おむつから紙おむつのリサイクルは世界初
- ・地球温暖化対策として効果大。志布志から国内外へ普及。

(4) 本地域のイメージアップ・認知度向上

農畜水産物のイメージアップ



## 効果② 住民サービスの向上等

- (1) 収集回数の増加  
生ごみと同時に回収することで、  
紙おむつの収集が、週1回→週3回へ
- (2) 紙おむつ専用袋の低価格化
  - ・子育て支援、介護世帯の負担軽減



- 〔モデル自治会へのアンケート調査結果より〕
- 週2回に増えてよかった (47%)
  - 回収袋が無料で配られるから協力した。(39%)





## リサイクルおむつの地域内循環に向けて

再生パルプから製造した紙おむつの使用には、抵抗があることが懸念されることから、市内の介護施設等に衛生的に問題ないこと、環境にやさしいことをご理解いただきながら、普及啓発に努めていきます。

- (1) リサイクルされたパルプの地産地消  
※名刺やトイレットペーパー等への利用
- (2) 介護施設等へのお願い  
※リサイクルおむつの積極使用

〈モデル自治会へのアンケート調査結果より〉

殺菌して安全なリサイクルおむつの購入について、

子供用では「買いたい」が48%だが、大人用では69%と高い。



# 美しい地球を 子どもたちに

使っていらなくなった物は、きれいに洗って  
出します。

袋には名前を書いて、出したごみに責任を  
持ちます。

混ぜればごみ、分ければ資源です。

志布志市は今ある資源を長く使うことが  
SDGsにある「持続可能な社会」につながっ  
ていくと考えています。



## 行政視察【会派】レポート

2023年5月17日14時～15時半

視察先：志布志市

説明者：文教厚生常任委員長 丸山一

市民環境課

環境政策室

環境政策係

参加者：開 康生 福島さとり 蛭子秀一 東浦小夜子  
中尾健一 中村敦子

報告者：中村敦子

### 【調査内容】使用済み紙おむつ再資源化(リサイクル)事業

#### ◎課題と目的

使用済み紙おむつは尿を吸収して燃えづらく、使用前の約4倍も重くなり、運搬にも一般的な廃棄物より、労力とコストがかかり、処理時にCO<sub>2</sub>量も多く、乳幼児だけでなく、高齢化社会に伴った大人用紙おむつの需要が増え続ける中、紙おむつ処理方法は早急に解決すべき問題である。紙おむつの原料は森林資材で紙おむつ一人あたりの使用量は年間1本の木材が使用されているとされ、こういった背景からも地球環境に配慮したリサイクル事業は循環型社会生活に寄与するものである。

世界初のリサイクル紙おむつの商品化を目指している志布志の事業から環境にやさしい取組を学びました。

志布志市には、焼却施設がなく、資源にできない廃棄物は埋立を行っています。その埋立ごみの中でも、重量比で1～2割が紙おむつとなっており、紙おむつを資源化できれば、かなりの埋立ごみの削減ができることになり、埋立処分場の延命化が図られています。その効果はまた二酸化炭素排出量削減による地球温暖化対策になること、また、同様の課題を有する国内外の地域で普及可能な紙おむつのリサイクルシステムが確立されることが期待されています。

使用済み紙おむつの水平リサイクルは、どこも取り組んでいない事業であり、実証実験の段階であるため、費用や作業工程や市民の協力など課題はあるものの、市をあげてのごみの回収、取組みは添付資料にあるとうり、ごみ削減、環境にとっても良い効果が見られます。

実際にオゾン処理された上質パルプの感触はいいもので、再生された紙お

むつは市販されたものと違いはなかった。今後検討されているトイレット  
ペーパーや指定ゴミ袋の利用活用にも期待されるものでした。高齢化が進  
む中、需要が高まる紙おむつの再生事業は資源が少ない日本にとって、また  
持続可能な社会を目指す上でとても重要な環境にやさしい取組みであり、  
本市でも取り入れたい事業でした。



## 熊本県八代市立博物館視察（施設概要について・普及活動について）

2023年5月18日 10:00～12:00

## 熊本城 復興視察（復興状況について）

2023年5月18日 14:30～15:30

報告者 蛭子 秀一

公明党尼崎市市議会議員参加者6名

（開、福島、蛭子、東浦、中尾、中村）

建築家「伊藤豊雄」の設計で構築された「八代市立博物館未来の森ミュージアム」は、八代市中心部の緑に囲まれた自然環境に恵まれた場所（2,726坪）に1991年10月25日に開館された。盛り地をされた緑の丘の中に4階建ての近代的で斬新なデザインの建物で、海外からの多くの建築家が来訪し話題を呼んだ。

建築家の伊藤氏は1971年に伊藤豊雄建築設計事務所を設立し、斬新かつ近代的な建築家として世界でも重要な建築家として数多くの賞を受賞し、後継の建築家を輩出する教育者としても高い評価を有しておられる。ここ八代市立博物館未来の森ミュージアムも毎日芸術賞を受賞されている。

博物館周辺は八代城址があり、市立図書館、市民会館、旧八代城主の松井家の庭園「松濱軒」があり歴史と文化が漂う場所に建てられ、旧八代城主の松井家伝来の名宝、美術工芸品の展示をはじめ、館藏品2万点を超える貴重な文化遺産の収集・保存・継承、また調査研究を行いその成果や講演会を通じて来館者の皆様に提供されて

いる。

文化材保護法に基づく文化庁の公開承認施設となっております。

●総工費 2,448,841 千円（工事費 2,234,780 千円、土地購入費 214,061 千円）

地方債 1,950,792 千円、基金（教育文化センター建設基金）443,615 千円、一般財源  
54,434 千円

●職員数

館長以下 12 名（うち学芸員 7 名）

●委託：空調管理 1 名、受付案内 2 名、清掃 2～3 名（平日）、警備（24 時間体制、  
昼 1 名・夜 2 名）

●展示活動

①自主企画展の開催を年間 4 本（春夏秋冬）の特別展覧会を開催

②常設展示の充実として八代の歴史と文化の紹介、旧八代城主松生家に伝来した美  
術工芸品を展示。

●調査研究活動

①松井文庫所蔵古文書調査（平成 6 年からの継続事業）古文書 1 万通。

②鹿子木家文書調査（令和 2 年度からの事業）

●資料収集活動

①貴重な資料の寄贈・寄託の推進

②専門図書等の整備・充実

## ●教育普及活動

①講座・講演会の開催

②その他

## ●年間入館者（令和4年度）

23,979人（うち有料入館者8,043人、外国人100人）

開館日数291日（1日平均入館者数82人）

入館料：一般310円、大学・高校生200円、中学生以下無料

（特別展覧会時は別途に入館料を設定）

## ●年間予算（令和4年度）内訳

総計152,896千円（職員経費81,902千円53.6%、施設管理運営費52,100千円34%、施設整備5,356千円3.5%、常設展示費2,879千円1.9%、展示資料調査、教育費422千円0.3%、特別展覧会費10,237千円6.7%）

## ●八代市立博物館友の会（平成3年度設立任意団体）

会員数（令和2年度実績）：一般会員（1年間37人・会費2,000円、3年間178人・会費5,000円）、特別会員1年間103人・会費20,000円）

### 【視察での感想とこれからの課題】

令和2年度、3年度は新型コロナ感染過の中で全国の博物館施設で来場者は激減しているが、本館は市の総人口の20%前後の入館者数を維持。市民に親しみのある、興味ある展示が功を奏していると考え。また教育施設の一環として、学芸員実習生・職場体験の受け入れ、小・中学生の入館が多いことも考えられる。友の会の設立

で博物館の活動に積極的な協力、参加が促されている。博物館周辺の地元文化的資産が多い立地が良い。他館への調査協力・館蔵資料の貸し出し・提供に積極的に活動している事で特別展覧会の充実が注目を浴びている。館内、および周辺の整備には力を入れておられ大変きれいで雄壮で美しい。博物館周辺に文化財資源が多いことも良い。SNS 発信、HP の充実、会報の発行など情報提供に力を入れている。

今後は、会館 30 年が過ぎ、施設整備に相当な費用が掛かる、また施設改修においては建築家の伊藤氏の許可が必要で、収蔵品の増加に伴う将来設計も視野に入れての詳細なやり取りが必要で計画に時間がかかる。以上、歴史博物館を有する本市にとりましても大変参考となりました。ありがとうございました。

追伸

午後に熊本城の復興状況も見させて頂きました。天守閣はきれいに修復されておりますが、周辺石垣には地震の爪痕が深く残っており、完全修復にはあと年相当の時間を要するとのことでした。観光者多く、外国人観光者も多く見受けました。

文化的遺産の保存には大変な費用と時間が掛かるため、災害から守る対策を必要に感じました。



2023年5月22日

「視察報告書」

日時 2023年5月18日午前10時～12時  
視察先 八代市  
説明者 八代市議会事務局（局長） [REDACTED] 議事調査課 [REDACTED]  
副館長 [REDACTED]、副館長補佐兼学芸係長 山崎撰、主幹兼管理係長、  
[REDACTED]  
出張者 開 康生、福島 覚、蛭子秀一、東浦小夜子、中尾健一、  
中村敦子  
報告者 東浦小夜子  
視察内容 「八代市立博物館の施設の概要、普及活動について」

視察項目

1.博物館の概要、特徴、施設運営について

1991年10月に八代市の中心部の緑に囲まれた場所に開館されました。周辺には八代城址、や旧八代城主松井家の庭園「松濱軒」などがあり歴史と文化が漂う場所に位置しておりました。

国際的に有名な建築家、伊藤豊雄氏の設計であり斬新な外観、南国の日差しを避ける木陰ができ、訪れる市民が歴史と芸術文化に自然と溶け込むことのできる素晴らしい建物だと感じた。

特徴は、人文系博物館、歴史、美術工芸などを専門とする郷土博物館、旧八代城主松井家の名宝を展示紹介している。

鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造4階建、1432㎡、

総工費 2,448,841千円（工事費 2,234,780千円、土地購入費

214,061千円）財源内訳 地方債 1,950,792千円、基金 443,615千円、一般財源 54,434千円、

職員 12名（館長、副館長、副館長補佐、管理系 3名、学芸系 6名）

2.歴史・文化・芸術の普及啓発の状況について

自主企画展の開催、年4本、特別展示会を開催している。

R3年実績、総入館者 16821人（特別展覧会入館者 7408人）

春季はコロナの為 1 日のみの開催で休館となったが残り 3 回は開催

R4 年実績、総入館者 23979 人（特別展覧会入館者 12536 人）

R4 年の特別展示展の企画も幅広い層に関心を集める内容である

常設展示 八代の歴史と文化を紹介するコーナー、一般社団法人松井文庫が所蔵する絵画、能面、能装束、漆器、甲冑、などの美術工芸品の収蔵品展を行う。

### 調査研究活動

松井文庫所蔵古門書調査（平成 6 年からの継続事業）

鹿子木家文書調査（令和 2 年度～）

### 教育普及活動

講座、講演会、児童・生徒、視察、研究、その他諸団体への解説活動、市内小中学校、市民団体などへの出前講座（講師派遣）他館への調査協力、博物館ホームページの充実

### 今後の課題

- 1, 利用促進については、コロナ禍の中、博物館の利用状況も変容していくものと考えられ、博物館としての様々な情報提供など DX 化を推進し市民ニーズを踏まえた生涯学習活動の支援などに力を入れ、入館者の増を図っていく。
- 2, 施設の維持管理等については、平成 3 年の開館から 30 年が経過し、空調や電気設備、防犯防災設備、衛生設備等に経年劣化が顕著になっている。修理・整備を行い長寿命化に努める。八代市公共施設総合管理計画に基づいた施設の整備計画を行う。

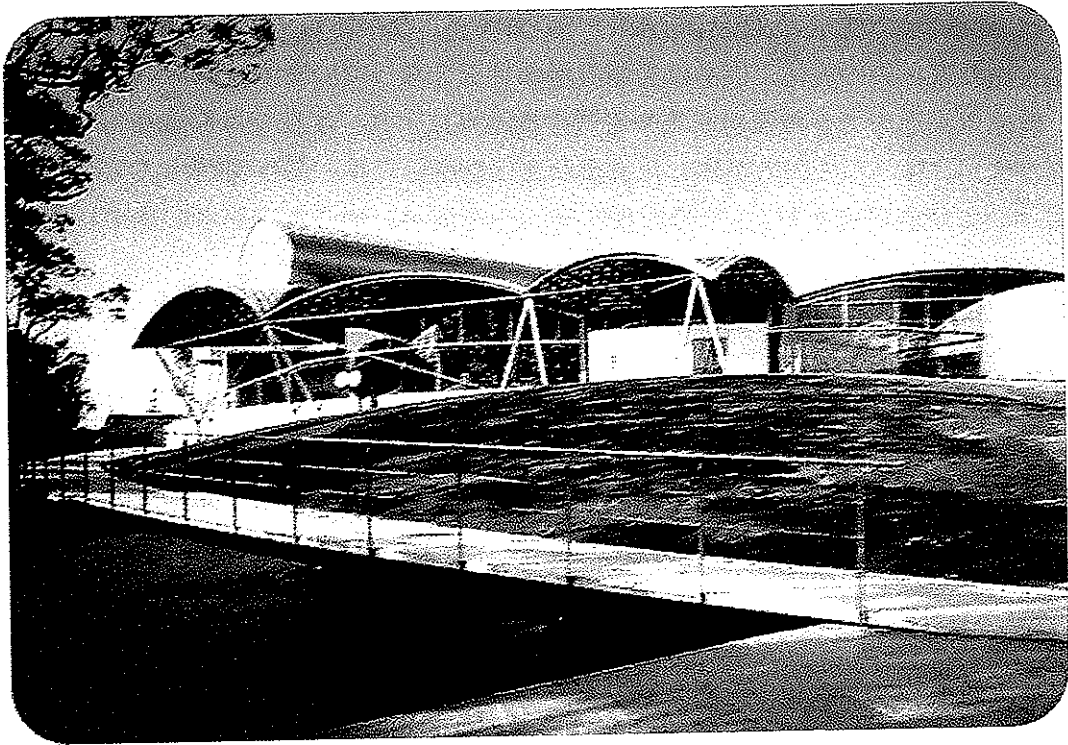
### 視察感想

本市尼崎市立博物館は、昭和 13 年尼崎市立高等女学校として開校され、城内中学校、成良中学校の校舎として歩み、学校統合により役目を終えた後、尼崎城本丸跡に位置し、歴史的建造物であることから文化財収蔵庫として活用し、歴史博物館として 2018 年度リニューアル工事に着手し 2020 年に開館されました。開館がコロナ禍の中であったため周知、利用促進など厳しい面があったと思われませんが、今後、歴史博物館として、市民への利用促進を進めていきたいと考えます。そのような思いをもつての、今回の視察は、博物館としての 30 年たった今でも、総人口の 20%前後の入館数を維持している事に、感心し大変

参考になりました。今後は、さらに歴史、文化、芸術への様々な取組に今回の視察を踏まえ、本市の市民に広く歴史・文化を伝え、後世に引き継ぐ役割を担い、さらに歴史文化の普及に尽力して参りたいと感じました。

# 博物館の概要

---



令和5年度

八代市立博物館未来の森ミュージアム

## 八代市立博物館未来の森ミュージアム

「八代市立博物館未来の森ミュージアム」は、八代市の中心部に位置し、緑に囲まれ自然環境に恵まれた場所に、平成3年10月25日（1991年）に開館しました。

博物館の周辺には、八代城址（1622年築城）、市立図書館、市民会館「厚生会館」、旧八代城主松井家の庭園「松濱軒」（国指定名勝）などがあり、歴史と文化が漂う場所に博物館は建てられています。

建物は「くまもとアートポリス '92」参加作品として、斬新なデザインが歴史的な環境に調和した建物として話題を呼び、海外からも多くの建築関係者が訪れました。

館内では八代の成り立ちとその仕組みを知り、郷土八代に深い理解と興味を抱いていただけるように、地域性に立脚した展示に心がけていますが、なかでも、財団法人松井文庫所蔵の旧八代城主松井家伝来の美術工芸品は当館展示の目玉となっています。

また、開館以来進めてきた資料収集や寄贈の推進等により、現在では館蔵品も2万点を超えておりますが、私たちの先人が残した貴重な文化遺産を収集・保存・継承しながら、これらの遺産について調査研究を行い、その成果を展示や講演会を通じて来館者の皆様に提供しています。

### （1）特 徴

- ①人文系博物館（歴史・美術工芸などを専門とする郷土博物館）
- ②くまもとアートポリス 92 参加の建築作品（国際的な建築家伊東豊雄氏の設計）
- ③文化財保護法に基づく文化庁の公開承認施設（県内は熊本県美と八代市博の2施設）
- ④旧八代城主松井家の名宝（一般財団法人 松井文庫所蔵）を展示紹介

### （2）経 緯

- ・教育文化センター構想 [ 図書館、中央公民館、博物館（歴史資料館） ]  
（昭和 54 年教育文化センター建設審議会へ諮問、昭和 55 年 5 月答申）
- ・複合施設案から分離独立建設案へ
- ・昭和 63 年 3 月博物館の建設決定
  - 同年 7 月くまもとアートポリス参加決定
  - 同年 10 月設計委託
  - 平成元年 11 月 17 日着工
  - 平成 3 年 3 月 27 日竣工
  - 同年 10 月 25 日開館

**【施設概要】**

- ・敷地面積 8,997.80 m<sup>2</sup> (2,726 坪)  
(都市公園 8,101.72 m<sup>2</sup>、竹原邸跡 495.86 m<sup>2</sup>、第2駐車場 400.22 m<sup>2</sup>)
- ・建築物 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造4階建
- ・建築面積 1,432 m<sup>2</sup> (434 坪)
- ・延床面積 3,418 m<sup>2</sup> (1,036 坪)
- ・施設内容
  - 1階 第一常設展示室(581.56 m<sup>2</sup>)、第二常設展示室(242.84 m<sup>2</sup>)  
第一收藏庫(58 m<sup>2</sup>)、特別收藏庫(92.05 m<sup>2</sup>)、燻蒸室  
荷解室、一時保管室、警備員室、控室
  - 2階 エントランスホール、特別展示室(289.58 m<sup>2</sup>)、講義室  
会議室、館長室、事務室、学芸員室、カフェ
  - 3階 スタジオ、暗室、作業室、スタッフルーム、倉庫
  - 4階 第二收藏庫(159.36 m<sup>2</sup>)、第三收藏庫(133.03 m<sup>2</sup>)
  - 屋外 屋外展示場、第1駐車場(大型バス4台、乗用車30台、  
身障者用1台)、第2駐車場(乗用車20台)
- ・総工費 2,448,841 千円(工事費 2,234,780 千円、土地購入費 214,061 千円)
- ・財源内訳 地方債 1,950,792 千円、基金 443,615 千円、一般財源 54,434 千円  
(基金:教育文化センター建設基金)

**【利用案内】**

- ・開館時間 午前9時から午後5時まで  
(入館は4時30分まで)
- ・休館日 毎週月曜日(当日が祝日の場合はその翌日)  
年末・年始(12月29日から1月3日まで)
- ・観覧料

区		分	観 覧 料(1人1回につき)
個	常 設 展 示	一 般	310円
		大 学 ・ 高 校 生	200円
人	特 別 展 示	一 般	その都度所要経費を勘案して 教育委員会が定める額
		大 学 ・ 高 校 生	
団 体	常 設 展 示	20人以上	個人に係る所定の観覧料の8割 に相当する額
	特 別 展 示		

備考 中学生以下は、原則として無料とする。ただし、他館との共催等による特別展覧会の観覧料については、その都度教育委員会が定める。

## 【令和4年度事業実績】

### 1. 施設管理運営

美術工芸品や歴史資料などを安全に保管・收藏し、展示公開が可能な博物館として、市民が安全かつ快適に利用でき、生涯学習の場となるよう、受付業務や清掃業務など各種業務委託等を実施し、適正な施設運営を行う。また新型コロナウイルス対策等の事業も併せて実施する。

### 2. 施設整備事業

平成3年の建築以来30年を経過し、施設の設備機器等に改修が必要な箇所が多くみられるようになっている。本事業では、八代市公共施設等総合管理計画に基づき、中長期的な改修計画に沿って、大小様々な施設・設備の改修事業を行うことによって、安全で快適な社会教育施設を市民に提供するとともに、博物館の機能維持と施設の長寿命化を図る。

(計画)

令和4年度	基本設計業務委託	令和5年度	実施設計業務委託
令和6年・7年度	改修工事予定		

### 3. 展示活動

#### (1) 自主企画展の開催 年間4本(春・夏・秋・冬)の特別展覧会を開催

##### ① 春季特別展覧会

「こわいもの大集合 ～妖怪・幽霊・鬼・地獄～」

2, 552千円 (会期) R4年4月22日～6月5日

こわいものをキーワードに福岡市博、熊本県立美術館、松井文庫所蔵のコレクションから、妖怪・幽霊・鬼・地獄にまつわる作品を紹介する。最近のアニメブームもあり幅広い層に関心を集める内容。

##### ② 夏季特別展覧会

「ようこそ！美術の森へ～いろんな絵、見てみよう！～」

1, 200千円 (会期) R4年7月15日～8月28日

博物館が收藏する現代絵画を中心に展示し、様々な絵画をテーマごとに対比させながら子供たちが楽しみながら鑑賞し、様々な表現方法を学びながら美術に興味を持つ。

##### ③ 秋季特別展覧会 八代の歴史と文化 31

「町人と百姓の江戸時代 ～私たちの歴史がここにある～」

5, 313千円 (会期) R4年10月21日～11月27日

八代城下町に生きた町人、球磨川流域の村々に生きた百姓をテーマにした展覧会。県内に残る古文書、絵画などから八代地域の町・村に暮らした人々の生活や活動を紹介する。

#### ④ 冬季特別展覧会

「知られざる肥後の絵師 2023」

1, 172千円 (会期) R5年2月3日～3月12日

江戸後期から大正にかけて鏡地域で活躍した絵師、園田耕雪を紹介する。  
千丁・鏡地域の干拓事業で活躍した「鹿子木量平・謙之助」肖像画などの作品を一同に紹介する。

(令和3年度実績)

種別	名称	会期	入館者数
春季特別展覧会	八代城主松井家の武器と武具	4月23日のみ (新型コロナにより以降休館)	46人
夏季特別展覧会	やつしろ美術動物園2	7月16日～8月29日	2,633人
秋季特別展覧会	妙見信仰と八代	10月22日～11月28日	3,136人
冬季特別展覧会	お殿様は買いもの上手	2月4日～3月13日	1,593人
合計			7,408人

#### (2)常設展示の充実

第1常設 考古・歴史・美術工芸・民俗の4コーナーを設けて、それぞれ年4回程度展示替えを行いながら、八代の歴史と文化を紹介する。

第2常設 一般財団法人松井文庫が所蔵する旧八代城主松井家に伝来した絵画・能面・能装束・甲冑・漆器などの美術工芸品を、展示替えを行いながら紹介する。また、年度末～新年度当初にかけて新収蔵品などを中心とした収蔵品展を行う。

#### 4. 調査研究活動

##### (1)松井文庫所蔵古文書調査(平成6年度からの継続事業)

一般財団法人松井文庫に所蔵されている古文書約1万通のうち、毎年、約250点の調査、整理・保存・活用を行う。さらに、年間200点程度を解読する。解読が終了したものは、適宜、調査報告書として刊行(令和元年度第20巻発刊)。

##### (2)鹿子木家文書調査(令和2年度～)

令和2年度に寄託された鏡地域の干拓等に関する資料「鹿子木家文書」約3,200点の古文書の整理、クリーニング、調書の作成、写真撮影を開始

#### 5. 資料収集活動

- (1) 貴重な資料の寄贈・寄託の推進を図る。
- (2) 専門図書等の整備・充実を図る。

556 3222 梅田



## 6. 教育普及活動

### (1) 講座・講演会関係

- ① 展覧会に伴う特別講演会・講座の開催
- ② 体験講座・鑑賞講座の開催
- ③ 古文書講座の開催（上級編）

### (2) その他

- ① 解説シートの設置（各特別展示、企画展示、常設展示）
- ② 児童・生徒、視察、研修、その他諸団体への解説活動
- ③ 学芸員実習生・職場体験等の受け入れ
- ④ 市内小中学校、市民団体などへの出前講座（講師派遣）
- ⑤ 新聞・雑誌などへの寄稿
- ⑥ 他館への調査協力、館蔵資料の貸し出し等
- ⑦ 博物館ホームページの充実

## 7. その他の活動

(1) 博物館敷地内の緑化及び環境整備

(2) 屋外展示場で市民の花「やつしろ草」栽培

3/24  
2500% (2500%)  
302  
6割位

### 【参考資料】 年間総入館者数の推移

単位：人

年 度	総入館者数	有料入館者	無料入館者		開館日数 (入館者/1日)	外国人 入館者
			中学生以下	その他		
令和4年度	23,979	8,043	6,225	9,711	291日(82人)	100
令和3年度	16,821	5,393	3,747	6,781	252日(67人)	44
令和2年度	8,995	2,127	2,340	4,528	253日(36人)	36
令和元年度	26,667	6,127	5,040	15,500	270日(99人)	272
平成30年度	19,869	5,857	2,813	19,869	204日(97人)	136
平成29年度	35,259	14,688	5,905	20,571	289日(122人)	363
平成28年度	24,801	6,119	5,311	13,371	260日(95人)	153
平成27年度	23,317	6,521	4,548	12,248	291日(80人)	370
平成26年度	32,076	10,910	5,469	15,697	292日(110人)	149
平成25年度	27,959	6,244	6,230	15,485	293日(95人)	153

特別展覧会入館者数

単位：人

年度	春季	夏季	秋季	冬季	その他	計
令和4年度	6,558	2,001	2,205	1,772		12,536
令和3年度	46	2,633	3,136	1,593		7,408
令和2年度	中止	中止	中止	1,118	3,428	4,546
令和元年度	3,289	2,880	3,874	1,090		11,133
平成30年度	3,344	3,295	3,689	休館		10,328
平成29年度	14,355	2,025	2,858	2,212		21,450
平成28年度	中止	3,623	4,328	2,663		10,614
平成27年度	3,079	2,070	3,390	2,024		10,563
平成26年度	9,319	2,127	4,540	2,040		18,026
平成25年度	1,874	2,684	4,459	2,324		11,341

【予算関係】 博物館予算内訳

事業名	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年(H31)		
	経費(千円)	%	経費(千円)	%	経費(千円)	%	経費(千円)	%	
職員経費	81,902	53.6	76,975	52.4%	66,581	47.6%	61,507	45.8%	
施設管理運営	52,100	34	51,863	35.3%	51,891	37.1%	51,391	38.2%	
施設整備	5,356	3.5	275	0.2%	4,275	3.1%	4,180	3.1%	
常設展示	2,879	1.9	2,864	2.0%	2,868	2.0%	2,839	2.1%	
展示資料調査	343	0.2	937	0.6%	258	0.2%	1,312	1.0%	
教育普及	79	0.1	65	0.0%	81	0.1%	54	0.0%	
特別展覧会(合計)	10,237	6.7	13,866	9.4%	13,973	10.0%	13,094	9.7%	
特別展	春季	2,552	1.7	2,156	1.5%	2,514	1.8%	3,276	2.4%
	夏季	1,200	0.8	1,065	0.7%	1,110	0.8%	1,600	1.2%
	秋季	5,313	3.5	8,972	6.1%	8,817	6.3%	7,070	5.3%
	冬季	1,172	0.8	1,673	1.1%	1,532	1.1%	1,148	0.9%
計	152,896		146,845		139,927		134,377		

## 【現状と課題】

### 1. 博物館の利用促進

近年、全国的に博物館施設への入館者数が落ち込んでいるなか、本館は、開館以来、市の総人口の約20%前後の入館者数を維持している。コロナ禍の中、博物館の利用状況も変容していくものと考えられ、博物館としての様々な情報提供などDX化を推進し、今後も市民のニーズを踏まえた魅力ある展示や生涯学習活動の支援などにより、入館者の増を図っていく。

### 2. 施設の維持管理等について

博物館は、平成3年の開館から30年が経過し、空調や電気設備、防犯防災設備、衛生設備等に経年劣化が顕著になっている。そのため、随時、修理・整備を行いながら、施設を維持管理し、長寿命化に努めている。

安心安全な施設の整備に努め、社会教育の拠点施設として、市民文化の発表の場としての役割を引き続き担っていく必要があり、また公開承認施設を維持しながら、八代市公共施設総合管理計画に基づいた施設の計画的な整備事業を行う。

## 【八代市立博物館友の会】

### 〈設立趣旨〉

平成3年設立の任意団体で、博物館の諸行事を通じて、郷土の歴史・文化について会員が自主的に学びつつ、博物館の活動に積極的に参加・協力する。

○会員数(令和2年度実績)	一般会員(1年間)	37人	(会費 2,000円)
	一般会員(3年間)	178人	(会費 5,000円)
	特別会員(1年間)	103口	(会費 20,000円)

### 〈活動内容〉

#### ①自主企画事業

- 郷土に関する自主企画展の開催。
- 博物館の収蔵品に関するミュージアムグッズの作成
- 研修旅行の開催
- 会報の発行(年4回)

#### ②ボランティア活動

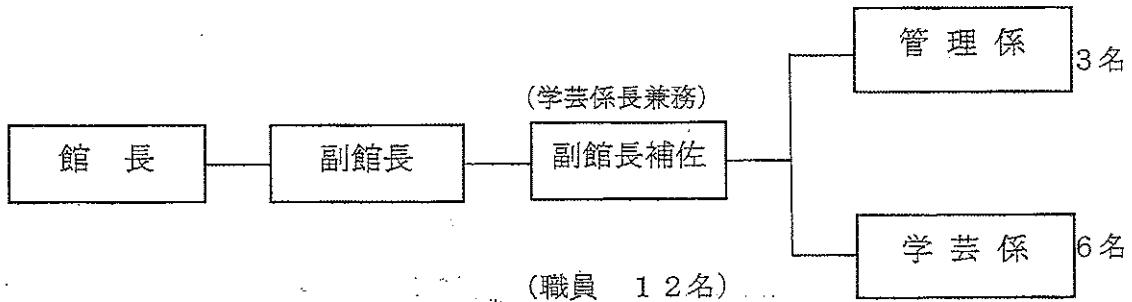
- 会報の発送作業
- 博物館周囲の環境整備(花壇の植栽など)

#### ③資料の寄贈など

- 郷土に関する資料(西山宗因関係資料・八代焼など)の博物館への寄贈
- 参考図書、ビデオ等の博物館への寄贈

【組織】

令和5年4月1日現在



館長 松井 葵之 (会計任用職員)

副館長

山崎 稔

副館長補佐兼学芸係長 (学芸員) 「美術工芸」

管理係

主幹兼管理係長

主任 (設備)

主任

学芸係

主幹 (学芸員)

鳥津 亮二 「歴史」

上席参事 (学芸員)

石原 浩 「美術工芸」

上席参事 (学芸員)

林 千寿 「歴史」

主事 (学芸員)

宮原 江梨 「美術工芸」

主事 (学芸員)

南浦 利早 「歴史」

主事 (学芸員)

木村 ひなの 「民俗」

【委託】(常駐)

- 空調設備コントロール業務 1名 (平日1名、土日・祝日1名)  
一般社団法人 八代弘済会
- 受付案内 2名 (開館日常時2名、繁忙時3名)  
株式会社 三勢
- 清掃 平日2~3名、土日・祝日1名  
熊本環境サービス有限公司
- 警備 24時間体制 (昼1名、夜2名)  
株式会社 総合警備保障(ALSOK)

【業務委託】

収蔵庫くん蒸作業、環境測定、害虫等駆除・消毒業務、図録販売、熱源保守点検、エレベータ保守点検、空調機フィルター保守点検、消防設備等点検、電気工作物保安管理、樹木管理、他

行政視察（会派）レポート

2023年5月22日  
福島さとり

日時 2023年5月19日（金）10:00～11:30  
視察先 佐賀市 総務部広報課シティプロモーション室  
          ■■■■ 室長、■■■■ 氏  
参加者 開 康生、福島さとり、蛭子秀一、東浦小夜子、中尾健一、中村敦子

<視察項目>戦略的シティプロモーションについて

○シティプロモーションの目的

地域ブランディングの向上

→選ばれるまち⇒移住・定住者の増加、佐賀市への往来社の増加

○これまでの取り組み

令和4年度予算 20,611,000円（全体）

（内訳）	バルーンフェスタブランド強化プロモーション事業	約 800 万円
	市内に向けたプロモーション事業	約 100 万円
	市外に向けたプロモーション事業	約 400 万円
	福岡県向けプロモーション事業	約 220 万円
	アドバイザー委託事業	約 330 万円
	プロモーション大使事業	約 130 万円
	その他諸経費	約 80 万円

（トップセールスの充実）

- ・デパートで開催の大九州店で市長自ら商品を紹介
- ・市長によるふるさと納税の人気返礼品を紹介
- ・さがマラソンのYouTube出演による市長応援メッセージ

（認知度アップキャンペーン）

- ・シティプロモーションムービー

（佐賀市プロモーション大使）

- ・佐賀市出身等の著名人を通じて市の歴史、文化、物産等の魅力を広く発信

（SNSを活用した情報発信）

- ・SNS フォロワー数 令和4年目標 47,000人 実績
- 情報発信強化アドバイザー 全庁的な情報発信の底上げ

<感想>

佐賀市は2017年に都市の暮らしやすさNo.1に選ばれたまちです。

TOPICSにSAGAサンライズパーク、SAGAアリーナが整備され、バスケットやスケート、有名アーティストのコンサート等の開催、2024年には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が予定され、夢や感動を生み出す『さが躍動』のエリアへ発展しています。

まち・ひと・しごと創生総合戦略、戦略的シティプロモーションの推進（佐賀らしさの発信）に第1期は、認知度向上・イメージアップ

第2期にはさらに市民と一緒にプロモーションをめざし、それまで秘書課にあったシティプロモーション室を令和4年度から新設された広報課に置き、3名から4名体制に強化されました。

例年11月には熱気球の世界大会が開催され5日間で80万から100万人の方が集まります。

市長自らYouTube動画に積極的に出演されトップセールスに力を入れています。特に注目すべきところは佐賀市シティプロモーションムービー（全13弾）です。

第1弾は「W・R・S・B」佐賀市の魅力の一つである有明海とそこに生息する珍しい生き物「ワラスポ」をテーマとした映画の予告編テイストでインパクトのあるムービーになっており、第6弾では佐賀弁のラジオ体操、第10弾は佐賀牛のさしパワーが脳に良い刺激を与えると脳科学者の先生のコメントを紹介しています。第11弾では令和3年全国広報コンクール映像部門で総務大臣賞受賞作品に輝いた「本当にあったぬるい話」と38度のぬるい温泉にまつわる物語など、自虐ネタのようなところに、面白みと実は魅力たっぷりのまち佐賀市が感じられるものになっています。

佐賀市は今後、市外に向けては地域資源の磨き上げ、ブランド化し「選ばれる佐賀市」へ、市内向けには魅力の認識→誇りと愛着→佐賀市を勧めたいという気持ち→「選ばれる佐賀市」をめざし取り組まれています。

本市においてもあまラブ、シビックプライド、シチズンシップの醸成や街の魅力発信に佐賀市の取り組みを参考にし「住んでみたいまち」「住んでよかったまち」「住み続けたいまち」尼崎を目指してまいりたい。

以上

令和5年5月22日

## 佐賀市・戦略的シティプロモーションの推進について、

報告者 開 康生

視察日時；令和5年5月19日(金)10:00～11:30

参加者；開 康生、福島 さとり、蛭子 秀一、東浦 小夜子、中尾 健一、中村 敦子

受入先；佐賀市議会局(局長) [REDACTED]

総務部広報課シティプロモーション室(室長) [REDACTED]



### 【視察項目】

#### 1.戦略的シティプロモーションの経緯：

第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定時において、佐賀市の知名、認知度の向上を図ることにより「住み続けたいと思う市民の割合」の向上、人口の流出抑制を図る目的を含め「市長直轄広報係」として創設され、当初想定していた人口の減少幅も想定以上に緩やかであったことから、第2期改定では更にイメージアップを図る SNS の発信することにより、訪れる・住む・働くと多くの人から選ばれる都市を目指す為、「市民と一緒にあったプロモーション」に取り組むことを主眼にしている。

地域のブランディングの向上、移住、定住、往来者の増加を目指すため、格上となった総務部「広報課」（1名職員増）として現体制に至る。

#### 2.これまでの取組み実績：〈パワーポイント資料別添〉

地域資源の発掘⇨プロモーションガイド作成。2023年11月国際バルーンフェスタ、プロバスケチームB1昇格、2024年10月国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催予定

#### 3.令和4年度事業費予算：20,611千円

市内外向けのプロモーションビデオ事業、アドバイザー委託事業、プロモーション大使事業 坂井市長(43歳)のトップセールス（ふるさと納税返礼品紹介・大九州展伊勢丹浦和店の商品紹介、YouTubeに出演PR）等による認知・知名度アップキャンペーン、佐賀市プロモーション大使を任命し、個人SNSの拡散に期待

#### 4.特質すべき事項、課題等について、

佐賀市は、2017年に野村総合研究所が国内100都市を対象に「成長可能性都市ランキング調査」において「都市の暮らしやすさ」1位、「子育てしながら働ける環境がある」3位と選ばれている。

引き続き、情報発信側の意図を含め、伝えたい相手にどのように伝わっているのかの把握と「伝える」から「伝わる」へ多くのメディアに注目される情報やメディア活用含め魅力ある情報を研究し、アドバイザーのアドバイスを活用し情報の発信に努めるとしている。

### 【視察感想】

佐賀市を視察させて頂き、都市の魅力再発見による「伝える」から「伝わる」「選ばれる」ための努力されている。アドバイザーとの良好な関係により SNS の発信や次にどう対応したらいいのか等、常に意識し発信に心掛けしていると職員からの説明から伺えた。また、結果の見えない作業の積み重ねがあることを強く感じた。

市長のトップセールスは、職員に大きく影響していることと市民とともに我がまちの魅力を発掘する職員の増加もバロメーターである。職員自ら当地に住みたいとすることが最も重要な視点でもあり、地域の魅力を市内外に発信することで更に都市のポテンシャルを高め、市民と行政との連携したまちづくりの関係が構築されていくと感じた視察であった。

以上



# ラジオ広報

エフエム佐賀

「Good morning Saga City」



NBCラジオ

「SAGA "C" WAVE」



えびすFM

「いいね！佐賀市」



61

## 成果指標

63

さらなる取り組み

情報発信力の強化

「伝える」から「伝わる」へ

知るから知る

情報発信強化アドバイザー

全庁的な情報発信力の底上げ！

62

＝ 毎月 発信

情報発信 →

まち・ひと・しごと創生総合戦略

戦略的シティプロモーションの推進(佐賀らしさの発信)

成果指標	R4目標	R4実績
シティプロモーションホームページアクセス数	21,000回	19,906回
SNSフォロワー数	47,000人	53,963人

※計画 R6目標 5,000回 32,700人  
⇒毎年 目標数値見直し

発信の底上げ(分析)  
(アドバイザー)

64

## 坂井市長が「佐賀市の魅力」伝えます!

2021年(令和3年)10月スタート

令和4年度更新件数 87 件

57

## メディア活用

- ①テレビ広報
- ②ラジオ広報

59

## バナーとの連携

興味を引くバナー



HPのアクセス数の増加



佐賀市の魅力周知



58

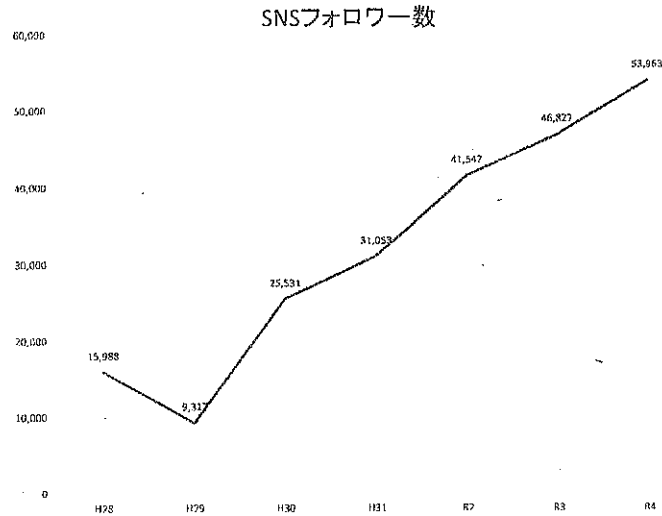
## テレビ広報

ぶんぶんテレビ 「知ろう!佐賀なう」

くらしの安心

ぶんぶんテレビ

60



## 佐賀市シティプロモーション 専用ホームページ

### 掲載内容

坂井市長が『佐賀市の魅力』伝えます！

佐賀市のプロフィール

プロモーション大使情報

佐賀市のイベント情報

など



# Twitter

フォロワー：約26万人

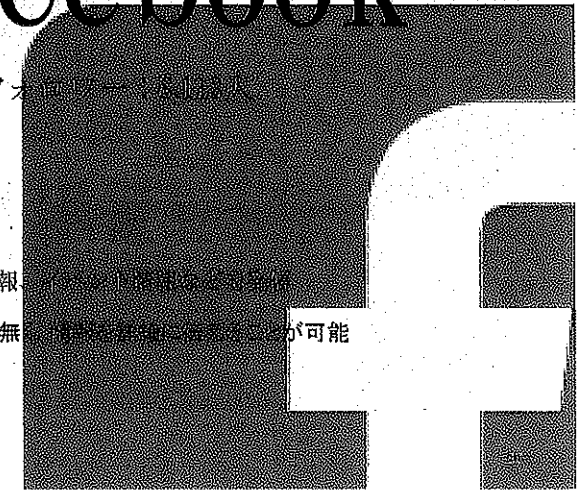
市政情報、イベント情報、緊急情報などを発信  
リツイートなどの機能による拡散力が強い  
市内外多くの方に告知が可能



# Facebook

フォロワー：約10万人

市政情報、イベント情報、緊急情報などを発信  
文字制限が無く投稿できるため、写真のアップロードが可能



# Instagram

フォロワー：約916人

市のイメージアップを図る、きれいな写真を発信  
若者の利用者が多く、若年層に向けた情報発信を期待できる



※ 佐賀県下ひなまつりをみんなでシェアしよう! ※

## SNS

フォロー & 投稿  
キャンペーン\*

#佐賀県下ひなまつりプレゼント

※実施期間：令和5年2月25日(金)～3月12日(日)

- 佐賀市公式Twitterをフォローする  
もしくは  
佐賀市公式Instagramをフォローする
- 佐賀県下ひなまつり会場の写真を撮影して、ハッシュタグ #佐賀県下ひなまつりプレゼント をつけて写真を投稿!
- 抽選で合計60名様にシユガーロードフェアのお菓子詰め合わせ(約3,000円相当)をプレゼント!

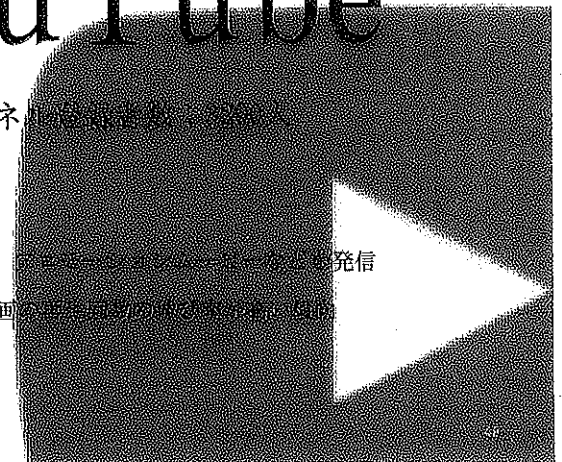


シティプロモーション室  
SNS

YouTube

チャンネル登録者数 1,000人

市長メッセージ、  
ショート動画



福 坂井 策隆 254 57 47

会 山口 517 240. 2.1 = 587

佐賀市出身者、またはゆかりのある著名人を通じて、市の歴史、文化、自然、物産等の魅力を広く発信しています。

700000 / 1000000

700000

700000

### これまでの実績

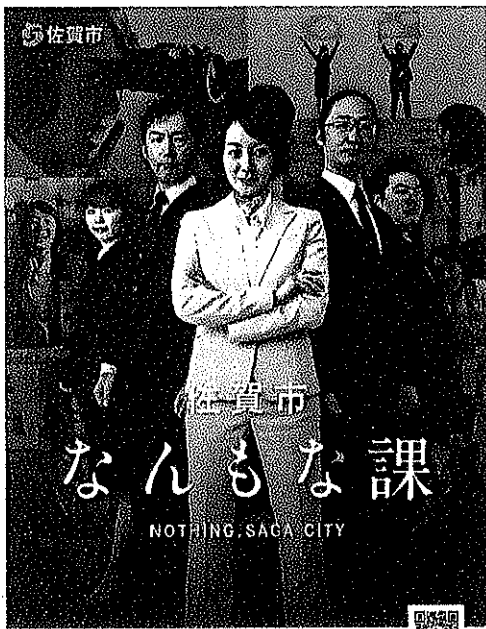
成人式お祝いメッセージ動画

栄の国まつりやバルーンフェスタなどのイベントステージ

SNSでの佐賀市情報の発信

## 令和4年度 活動実績





佐賀市の魅力の流出をくい止めるために  
秘密の部署「なんもな課」が動き出す！



## 第12弾

### 『佐賀市なんもな課』

地方への移住に関心を持っている東京圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）の人々に佐賀市が持っている様々な魅力を、移住促進ムービーや各種広報媒体を使って情報発信。

令和4年 全国広報コンクール  
映像部門 入選

37

## コロナ禍の情報発信

渋谷駅ハチ公前改札  
デジタルサイネージ



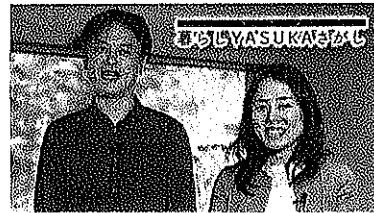
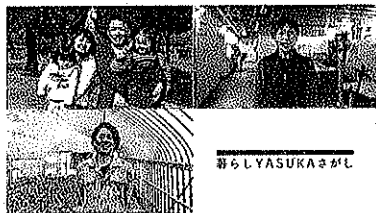
スクランブル交差点  
DHC大型ビジョン



38

## 第13弾

### 『暮らしYASUKAさがし』

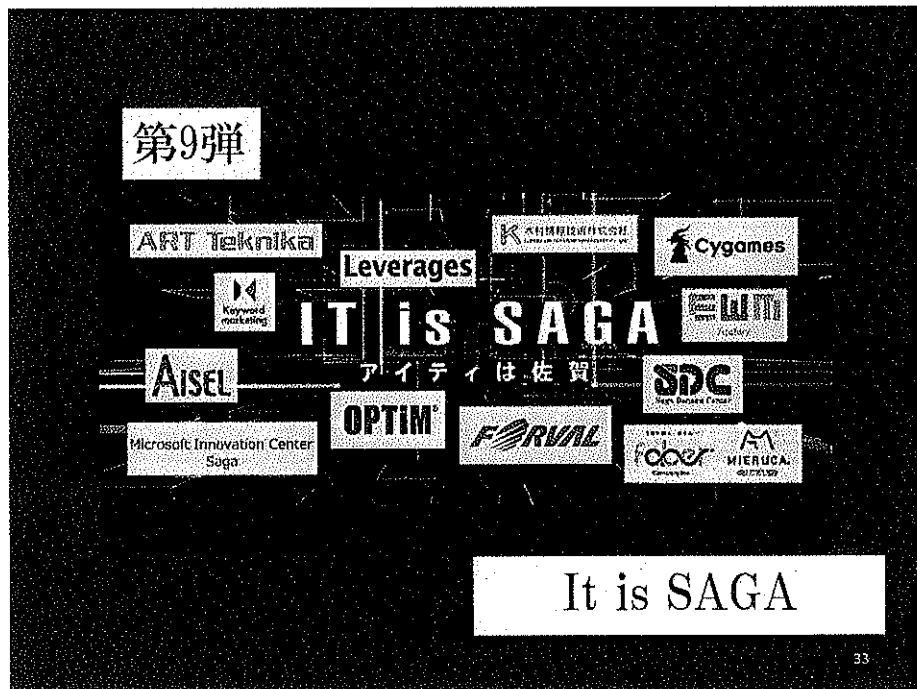


39

## 佐賀市プロモーション大使



40



第9弾

ART Teknika

Leverages

Cygames

Keyword marketing

IT IS SAGA

WAVE

AISEL

アイティは佐賀

SDC

Microsoft Innovation Center Saga

OPTIM

FORVAL

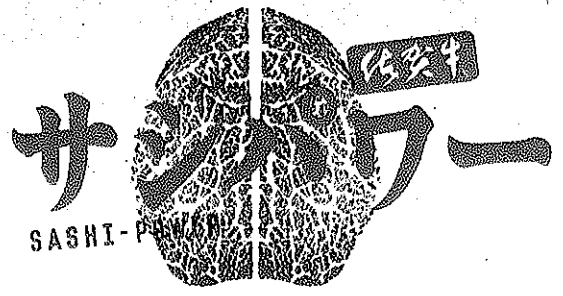
rocer WIERUCA

It is SAGA



第10弾

『サシパワー』



第11弾  
『本当にあったぬるい話』

令和3年 全国広報コンクール 映像部門  
総務大臣賞受賞



全5作品

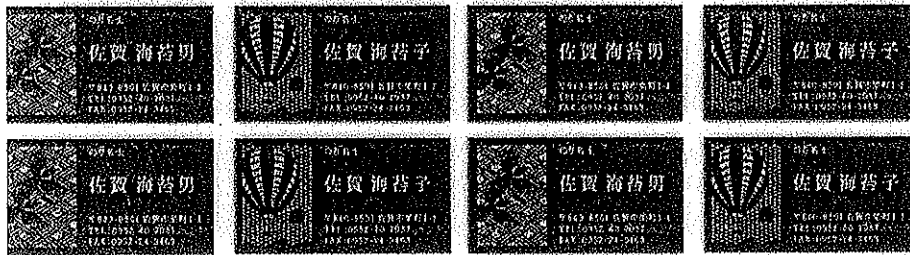
1. 「消えた婦人」
2. 「おぎゃあ」
3. 「別人格部長」
4. 「怪しい男」
5. 「ぬる湯に怨念」



第6弾

第5弾

『佐賀海苔、名刺のりプロジェクト』



佐賀弁

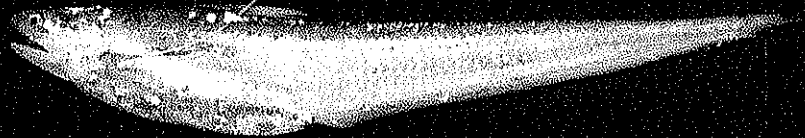
# ラジオ体操

第一



第7弾

# 幻の魚



# えつ

第8弾



十分に伸ばしましょう

佐賀弁 ラジオ体操 第二

# 『W・R・S・B』

佐賀市の魅力のひとつである有明海と、そこに生息するめずらしい生き物「ワラスボ」をテーマとした映画の予告編テイストでインパクトのあるムービー。



## 第2弾

『ガタバトル〜  
愛の戦士ムツゴロウ  
VS  
甲殻の騎士シオマネキ』



あなたには見えるか?

## 第3弾

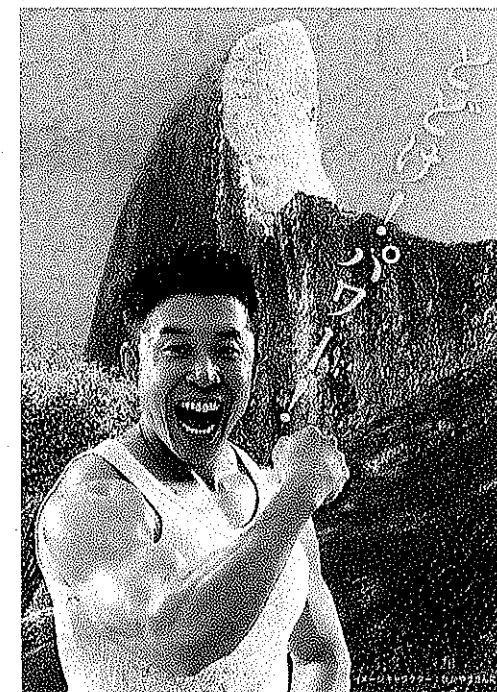
『みえない世界遺産、  
みえつ。』



みえない世界遺産、みえつ

## 第4弾

『巨石パワー区』



## 認知度アップキャンペーン

21

## 佐賀市 シティプロモーションムービー (全13弾)

22

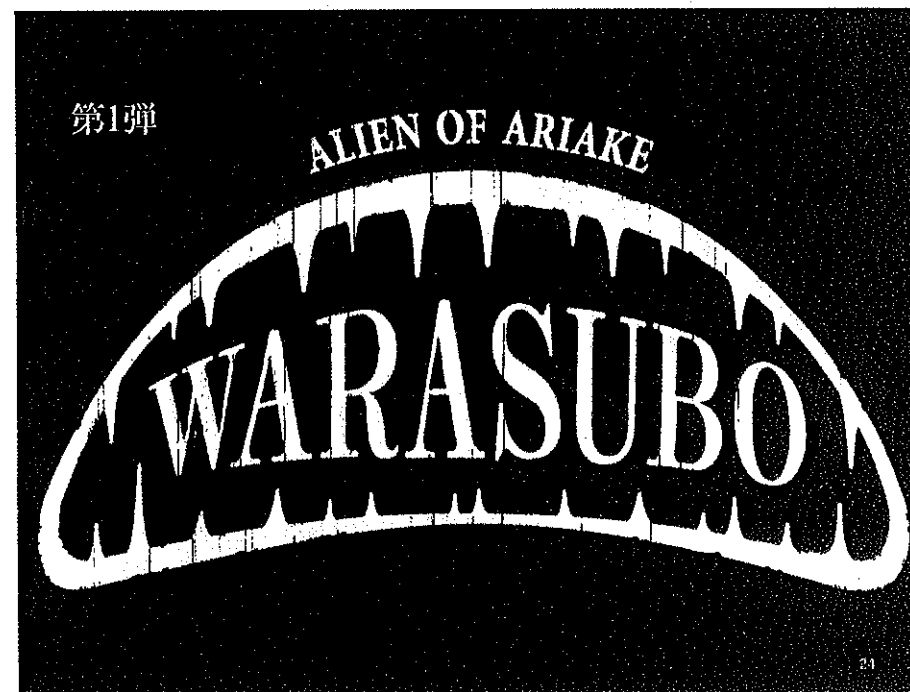
---

### シティプロモーションムービー

---

- 第1弾 平成26年 1月 「W・R・S・B」
- 第2弾 平成27年 7月 「ガタバトル～愛の戦士ムツゴロウvs甲殻の騎士シオマネキ」
- 第3弾 平成27年 9月 「みえない世界遺産、みえつ。」
- 第4弾 平成28年 3月 「巨石パワー区ニュース」
- 第5弾 平成29年 2月 佐賀海苔 名刺のリプロジェクト
- 第6弾 平成29年 3月 佐賀弁ラジオ体操第一
- 第7弾 平成29年 6月 「幻の魚えつ」
- 第8弾 平成29年10月 佐賀弁ラジオ体操第二
- 第9弾 平成30年 4月 「IT is SAGA」
- 第10弾平成30年11月 「見るだけで、脳が幸せになる！？佐賀牛のサンパワー」
- 第11弾令和 2年 3月 「本当にあったぬるい話」(R2年度公開)
- 第12弾令和 3年 「佐賀市なんもな課」
- 第13弾令和 4年 『暮らしYASUKAさがし』

23



24

佐賀

製品  
・唐汁ポト → (唐汁)  
・餃子 → (トス)

伊勢丹 伊勢丹  
・伊勢丹  
・伊勢丹

### トップセールスの充実



大九州展  
伊勢丹浦和店

市長自ら商品を紹介 & 提供



### 市長による ふるさと納税 人気返礼品 紹介



### YouTube出演による 市長応援メッセージ



令和4年度事業予算

20,611(千)円

13

これまでの取り組み

15

## 内訳

バルーンフェスタ ブランド強化プロモーション事業	約800万
市内に向けたプロモーション事業	約100万
市外に向けたプロモーション事業	約400万
福岡県向けプロモーション事業	約220万
アドバイザー委託事業	約330万
プロモーション大使事業	約130万
その他諸経費	約80万

14

## トップセールスの充実

認知度アップキャンペーン

佐賀市プロモーション大使

SNSを活用した情報発信

16

# シティプロモーションについて

まち・ひと・しごと創生総合戦略

第1期

認知度向上・イメージアップ

+

第2期

市民と一緒にあったプロモーション

## シティプロモーションの目的

地域ブランディングの向上

選ばれるまち

移住・定住者の増加

佐賀市への往来者の増加

総務部

秘書課

秘書係

広報係

広聴係

シティプロモーション室

3名 室長1名 会計職員2



重点課題「情報発信力の強化」



総務部

秘書課

秘書係

広聴係

広報課

R4新設

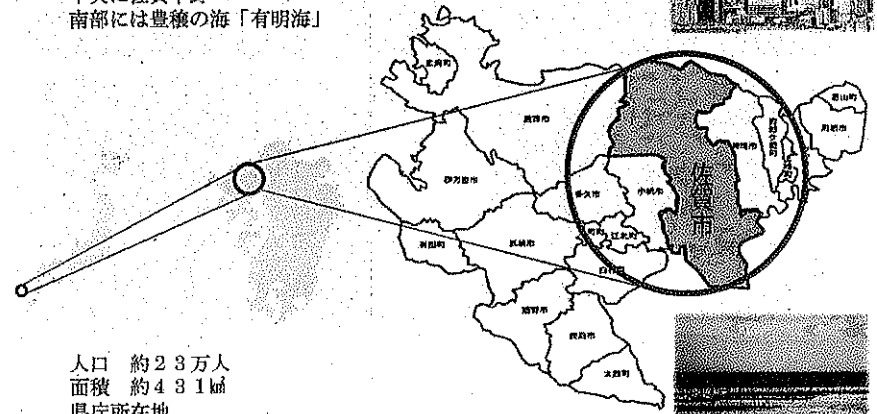
広報係

シティプロモーション室

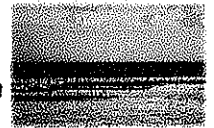
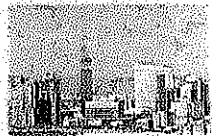
4名 室長1名 職員1名 会計職員2

# 佐賀市

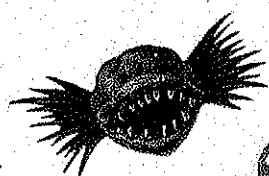
九州北部 佐賀県の東寄り 縦に長く位置  
市北部には緑豊かな山々・自然  
中央に佐賀平野  
南部には豊穡の海「有明海」



人口 約23万人  
面積 約431㎢  
県庁所在地



佐賀市



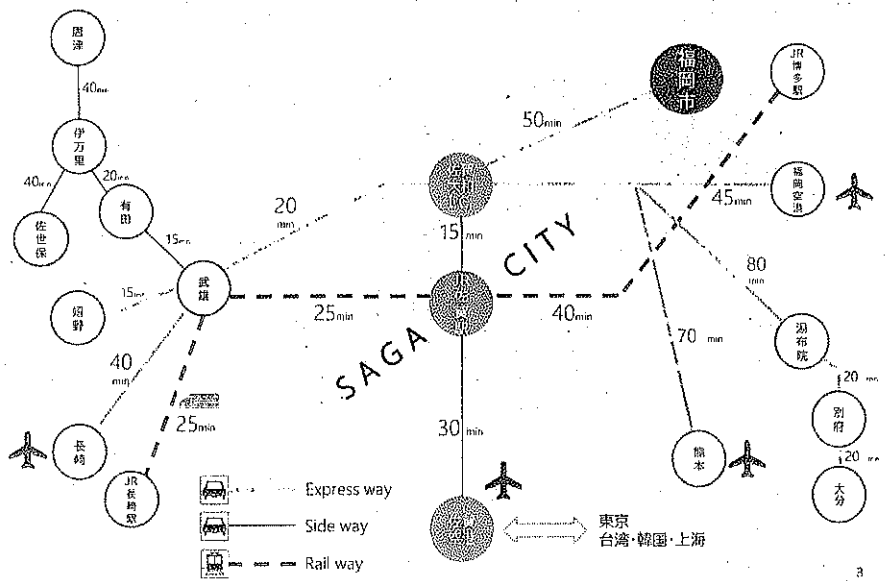
# 佐賀市



2022.5.19  
佐賀市 総務部 広報課  
シティプロモーション室

## アクセス

4000人  
1人 → 200人



## SAGA International Balloon Festa

84,9万人  
R3 無観戦  
R2 中止  
3年ぶり開催  
240回記念大会  
世界選手権

## 佐賀ならではの景色



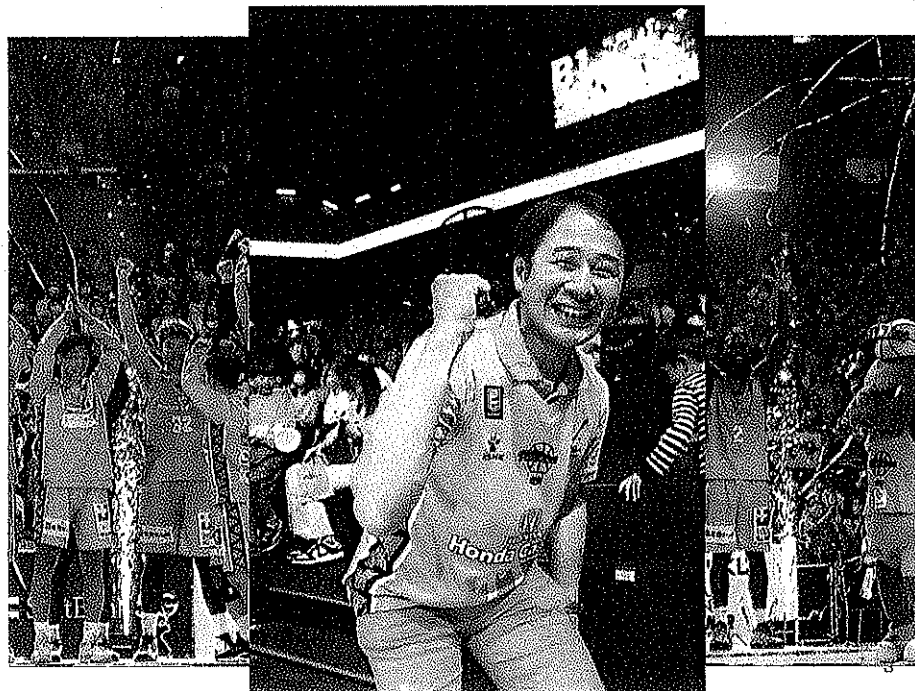
毎年秋に開催する  
世界中から100機を超える熱気球が参加するアジア最大級の熱気球大会  
パイロットが佐賀の空で熱い競技を繰り広げます  
河川敷から一斉に離陸し、熱気球が天空を飛び交う壮大な景色は圧巻！  
この素晴らしい景色は一度は見てほしい

# TOPICS

SAGA2024 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会



2024年 国スポ 10/5(土) ▶ 15(火)      2024年 全障スポ 10/26(土) ▶ 28(月)  
 会期前実施競技：9/5(木) ▶ 17(火)、9/21(土) ▶ 10/1(火)

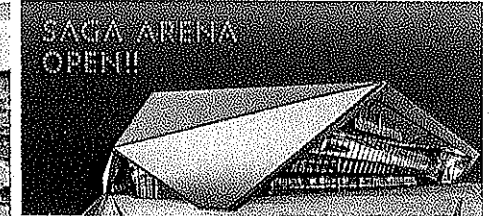


# TOPICS

SAGAサンライズパーク

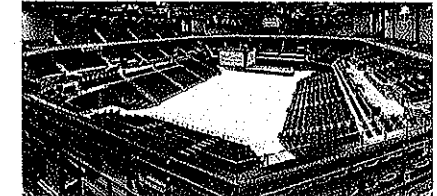
SAGAアリーナ

夢や感動を生み出す『さが躍動』のエリアへ！



九州最大級の約8,400席 コンサートやMICEも

陸上競技場やプールは国際基準



# TOPICS

SAGAアリーナ

>>><<<

イベント





PRing  
ミヤコ

今後の

# 『プロモーション』

在り

PR = 後付 PRing

PR = ( 報告 2/4/29 )

地域資源の磨き上げ



ブランド化

PRing



『選ばれる佐賀市』

豊かな自然

大都市とのアクセスの良さ

プロスポーツチーム

子育てしやすい環境

優れたテレワーク環境

おいしい食材の宝庫

誇れる歴史遺産・伝統工芸

魅力の認識



誇りと愛着



佐賀市を勧めたいという気持ち



『選ばれる佐賀市』

## 選ばれる都市・佐賀市

を目指して

ご清聴ありがとうございました